

風だより

県議会議員はくいし恵子の



発行者 島根県議会議員
はくいし恵子
2018年1月14日発行
拡大版 VOL.22

(はくいし) 事務所

〒690-0882
松江市大輪町414-12
TEL・FAX
0852-23-0880

HPアドレス
<http://www.hakuishi.sakura.ne.jp/index.html>

※是非、お立寄りください。

激動の2017年終え、2018年は

平和を願い、子どもたちの未来と県民の生活を 守り抜くために新たな決意で頑張ります



地球にやさしい社会

明けましておめでとう
ございます。皆様、ご家族
おそろいで良い年をお迎え
のことと存じます。

昨年は皆様にとつてどん
な年でしたでしょうか。日
本ではこの所毎年のよう
に災害が発生し、昨年は九
州北部で豪雨災害が発生
しました。地球温暖化は
今や待たないの状況にあ
り、日本でも世界のどこか
でも毎年大きな自然災害
が発生しています。

力発電から太陽光発電へと
転換しようとしています。
日本は技術革新によって
低炭素の火力発電の技術を
輸出しようとしています。
が、世界では評価される
どころか日本は脱炭素社
会の後進国だといわれるよ
うな状況になっています。
日本も脱炭素社会、地
球にやさしい社会へと転換
していかねばなりません
が、世界のこういう動き
は日本のメディアではあま
り報道されず、私たちも無
関心になりがちですが自分
自身のこととして考えてい
きたいものです。

平和は対話から

また、昨年は北朝鮮の
ミサイル発射実験が頻繁
で、緊張を強いられる1年
でもありました。北朝鮮に
どう対応していけばいいの
か、隣国として悩むこと
ろではあります。国民
の一人として、まさかの事
態に対処できるよう準備は
しながらも、できるだけ対
話による解決の道を探って
ほしいと切に願います。

それだけでなくとも益々き
な臭くなっている政界情勢
にあつて、70数年、守り続
けてきた平和を子ども達
の未来のために壊してはな
らないと思います。

県民の暮らしを守りたい

島根第1選挙区では、
民進党の亀井亜希子さん
が立憲民主党から出馬
終盤追い上げたものの小選
挙区では及びませんでした
たが比例で復活し、5年
ぶりの野党の議席を確保し
ました。

地方組織と参議院、無
所属で当選した民進党衆
議院議員で民進党は残り
うなつて行くのか、連合傘
下の各組合の立ち位置がど

らなれないと思います。

9月末、突然の解散によ
る衆議院議員選挙では、
民進党が希望の党への合流
を決め、どうなることか
と気をもむうちに立憲民主
党が立ち上がり、あれよ
と言つ間に選挙民の関心を
集め、終わってみれば野党
第一党になる、という政変
の選挙でした。

野党のドタバタのせいも
あつて安倍一強は変わらず、
年末に示された来年度予算
案を見ても国民の暮らし
は益々厳しくなりそうで
す。

うなつていくのか、当分目
が離せない状況が続くよう
に思います。

しかし私としては、今
までと何ら変わるることな
く、島根県議会議員とし
て県民の皆様方の暮らしが
少しでも良いものになるよ
う、しっかりと取り組んでい
きます。

今年も皆様にご意見をい
ただきながら頑張つてまい
りますので、どうぞよろ
しくお願ひします。

会派で要望

毎年11月議会中に、知事
に対し来年度予算に反映し
て欲しい政策などを列挙し
た「政策予算要望書」を知
事に手渡しています。



要望を知事に提出

61項目の要望を提出

今年は大胆に事務事業を
見直し、メリハリを付けた
予算編成とするよう求め、
具体的には61項目にわたり
要望しました。

県育英会奨学金の免除制
度をもっと幅広く適用でき
るようにすること、三江線
沿線の持続可能な交通体系
を県主導で確立すること、
NPO法人等民間の活動と
の連携や有効活用を積極的
に行つことなどです。

知事の時間も15分程度
しかもらえないので、じつ
くり話すことができず、早
口の説明になるのも毎年残
念です。1時間ぐらいいか
けて知事の考えも聞けたら
いいのですが。

「今、しまねが面白い」

田中輝美さんが講演

8月24日、10周
年記念の県政報告
会を開催し、記念
講演として、ロー
カルジャーナリス
トの田中輝美さん
をゲストスピー
カーにお呼びし
「今、しまねが面白
い」と題しお話
を頂きました。

以前から女性の
新聞記者として、
精力的に頑張る彼
女を応援してきま
したが、数年前に
記者をやめ、日本
初のローカルジャー
ナリストとして独
立しました。

その後は「未来
を変えた島の学校」



県政報告会に参加のみなさん

写真で振り返りました。
初当選までの苦しい道の
り、支えてくださったたく
さんの方々、議会での様々
な出来事を思い出し、話し
ながら感慨深いものがあり
ました。

残暑厳しい中100人も
の皆様にお集まりいただ
き、本当に感謝してもしき
れない会となりました。何
の実績もない私を議員にし
ようと奮闘してくださつた
皆さん、10年の間支え、育て
てくださった皆さんの顔を
見ながら感謝の思いで胸
が一杯になりました。本当に
ありがとございました。

思いがけず、後輩の女性
たちからお祝いの手作り
ケーキをいただいたのも嬉
しいハプニングでした。

はくいし恵子の県議会報告



11月県議会

一般質問から抜粋
(11/20~12/15)

【政策企画局長】県の行政評価にSDGsの視点を加えることは有意義。理念・考え方を庁内で共有、改善に向けた検討を行う。

【防災部長】県のBCP(事業継続計画)について

(1)原発立地市の松江市や周辺自治体での原子力災害BCP策定状況を伺う。

【防災部長】県のBCPを参考に、松江市は自然災害

【防災部長】自然災害は今年度当初に訓練実施。また5月に研修。マニュアル改正をしたので再周知する。原子力災害は、作成時職員ポータルにて周知。関係職員への説明会・研修会、実地訓練。今後引き続き行う。

【獣医師確保について】

(1)初任給調整手当・支給年数引き上げについて考えを

【総務部長】人事委員会勧告を受け、他県の動向も踏まえながら改善について検討中。

(2)他部局・他県の取り組みを参考に積極的な募集を。

【農林水産部長】県保健師確保策のようなキャリアパスの説明なども取り入れて

【総務部長】現在勤務実態調査を終え、取りまとめ中。今年度中に方向性整理、来年度上半期制度構築、2月

【健康福祉部長】正規職員の兼務と嘱託職員計8名で支援。H27年度設置から間もなく、支援方法を模索している。今後の業務量や役割を確認しつつ検討していく。

(3)必要に応じ、タイムリーに家庭訪問が行えるよう体制を整えて欲しい。

【健康福祉部長】本人と家族の関係が悪化しないよう支援方法をマニュアル化し、研修会等で人材育成をしている。

9月県議会

一問一答から抜粋
(9/6~10/4)

【健康福祉部長】総合的に検証し、支援ニーズや他県の例も参考に経済的支援の在り方をしっかり検討する。

【鳥取県は最初から返還不要の助成金と県社協に基金を積んでの給付金制度。島根県も女性福祉協会に基金を積んで給付金制度にすることはできないか伺う。

【人事委員会委員長】一時金が多い県より減少幅が大きいが、新規採用職員は地元就職など給与面以外で応募している。

【知事・地域振興部長】観光の長期滞在の支援を行う。国には必要な支援を働き掛ける。

【知事・地域振興部長】分かりやすい時刻表は引き続き働きかける。連絡バスについては、改めて意見を聞く。

【知事・地域振興部長】分かりやすい時刻表は引き続き働きかける。連絡バスについては、改めて意見を聞く。

【知事・地域振興部長】分かりやすい時刻表は引き続き働きかける。連絡バスについては、改めて意見を聞く。

【知事・地域振興部長】分かりやすい時刻表は引き続き働きかける。連絡バスについては、改めて意見を聞く。

【知事・地域振興部長】分かりやすい時刻表は引き続き働きかける。連絡バスについては、改めて意見を聞く。

【知事・地域振興部長】分かりやすい時刻表は引き続き働きかける。連絡バスについては、改めて意見を聞く。

隠岐島への船賃は全て対象に

【知事・地域振興部長】分かりやすい時刻表は引き続き働きかける。連絡バスについては、改めて意見を聞く。

【知事・地域振興部長】分かりやすい時刻表は引き続き働きかける。連絡バスについては、改めて意見を聞く。

【知事・地域振興部長】分かりやすい時刻表は引き続き働きかける。連絡バスについては、改めて意見を聞く。

【知事・地域振興部長】分かりやすい時刻表は引き続き働きかける。連絡バスについては、改めて意見を聞く。

人員不足の獣医師の確保を



【総務部長】人事委員会勧告を受け、他県の動向も踏まえながら改善について検討中。

(1)H32年度から臨時・非常勤職員が会計年度職員となる。勤務条件の検討状況は。

【総務部長】現在勤務実態調査を終え、取りまとめ中。今年度中に方向性整理、来年度上半期制度構築、2月

【健康福祉部長】正規職員の兼務と嘱託職員計8名で支援。H27年度設置から間もなく、支援方法を模索している。今後の業務量や役割を確認しつつ検討していく。

(3)必要に応じ、タイムリーに家庭訪問が行えるよう体制を整えて欲しい。

【健康福祉部長】本人と家族の関係が悪化しないよう支援方法をマニュアル化し、研修会等で人材育成をしている。

獣医師確保が大きく前進

【獣医師確保へ初任給手当増】島根県方針

島根県の松尾紳次総務部長は、30日の県議会一般質問の答弁で、獣医師の月額給与に最大4万5千円を上乗せしている「初任給調整手当」を引き上げる考えを示した。近く、給与条例改正案を提出する方針。

採用が困難な専門職の確保が目的で、獣医師については2004年度から実施している。

しかし、16年度10人、17年度は12人を募集したのに

【多賀芳文】



劇を演じる子どもたち

【折尾鶴】という劇を演じた子ども達が、平和の大切さを忘れず胸に刻んでほしいと願います。

【折尾鶴】という劇を演じた子ども達が、平和の大切さを忘れず胸に刻んでほしいと願います。

平和への願い小学生が熱演

6年生の孫達は、今年修学旅行で広島に行きました。そこで原爆記念館や貞子さんのお話を聞いて、劇として学習発表会で演じました。孫たちの通っている小学校は毎年この劇を6年生が演じます。元気だった貞子が発病し、回復を願って折り続けた折尾鶴、生きたいという願い、親の嘆きを懸命に表現します。

友達の前では気丈に振る舞う貞子が一人になったとき「生きたい！」と叫びます。貞子役の子の声が真に迫っていて胸を打ち、思わず涙が溢れました。そして、劇の最初と最後にみんなが声を合わせて訴えます。「これは僕らの祈りです。これは私たちの祈りです。世界に平和を築くための」と。

この劇「折尾鶴」には、2曲の劇中歌があります。「祈り」と「折尾鶴」です。どちらもほんとは良い曲ですが、「折尾鶴」は広島島の修学旅行で持っていた折尾鶴を原爆の子の像にささげるときに歌うそうです。素晴らしい学校です。

この子達のために、平和を手放してはならないと強く思います。そしてこの「折尾鶴」という劇を演じた子ども達が、平和の大切さを忘れず胸に刻んでほしいと願います。

文教厚生委員会視察

飯南町 保幼小中高一貫教育の取り組み

8月28日、29日「教育の魅力化」をテーマに県内調査を行いました。

まず飯南町の連携型中高一貫教育と保幼小中高一貫教育の取り組みをお聞きしました。連携型では、中学と高校の先生がお互いに学校に出かけてスムーズに高校になじめる工夫をしていること、目指す生徒像は地域を大切に思い、心豊かに自立できる生徒であることなどの説明がありました。

スムーズな推進のため、推進会議、校長会、連絡会、各教科領域の専門部会、高校と中学の三校合同職員会があり、議論や検討をしながら進めているとのこと、会議が多く先生の負担は大きいと思いました。

保幼小中高一貫教育はH22年に本格スタート。町内の生徒が減り、県外町外からの生徒が増える中、早い段階からの「一環教育」をスタートしたそうです。一貫教育の基本理念として、幼児期から高校までをひとつの流れとして子どもの成長をとらえ、連続性と一貫性のある教育を目指す、地域全体で子どもを育てることで地域を担う人材を育成することを挙げられています。推進のためには、保小、小中、中高の連絡会を頻りに開催しているとのことでした。

高校には魅力化コーディネーターが3人町と学校に常駐していて対外業務等を担っていますが、小中学校



矢上高校の農場

には配置がないので小中学校の先生の負担が大きいと思われました。

が、寮のキャバが足りないため、下宿を受け入れてくれる先を探しておられます。

また、全体の生徒数が少ないので教員数が少なく、教える科目に限界があることや県外等へのPRに出かけることもあって先生の負担が大きいことも課題として挙がっていました。

次に邑南町の矢上高校に伺いました。矢上高校は早くから高校魅力化に取り組みでいます。県外生も多いと聞いていました。

西洋野菜を栽培し邑南野菜のブランド化を目指す、地域の人に生徒がインタビュールーフレットを作成する、「食の縁結び甲子園」出場のため、町の給食を調査し、研究するなど生徒の主体的な取り組みを行っています。

課題は、町内の生徒が減っていること。今後もある一定の県外生・町外生が必要なのです。

会派の県内調査



「スキモノ」平下さんの説明を聞く

「てごねつと石見」が新たな活動

12月18日、19日、会派で県内調査に出かけました。今江津が面白い、と聞いて出かけたのですが、有名になった「ビジネスコンクール」(通称「ビジコン」)が、若者が集まり出した出発点になったのでは、と思えます。その仕掛けを担っているのがNPO法人「てごねつと石見」。

「てごねつと石見」が、大賞を取った人をどう生かすのか、と始めた起業支援から、今では江津の子どもたちが故郷を誇りに思い、帰ってくることを願うためのキャリア教育、中心市街地活性化など、たくさんの方々の事業を担っておられます。

タウンマネージャーの盆子原さん、群馬出身の竹内さん、二人の若手が頑張っています。この2人の上司が横田さんですが、「若い職員それぞれの考えを大切に、思い通りやってみよう。責任は自分が取る」と。上司にはこんな

今、江津が面白い
新しいアイデアの「ごうつ大学」
自給自足と平和教育の高校

人がいいよな、きつと部下が育つ、と思いました。ビジコンの大賞受賞者でUターンして起業しているデザイナーオフィス「スキモノ」へも伺いました。古民家をショールーム、シェアハウスやゲストハウスにされ、古民家の再生も手掛けておられます。地域のもので大切に使うこと、丁寧な暮らしを提案していると話されています。

参議院特別委員会の中央公聴会で意見陳述をしたシルズ氏の奥田愛基君の出身高校として有名になった「キリスト教愛真高校」に伺いました。

全寮制、全校50人の小さな学校です。三食の食事は生徒たちが作り、トイレも汲み取り式で生徒たちが当番制で肥くみを行います。

また週2回作業の時間がある。園芸、菜園、修繕、水田山林、製パン、保存食品、養鶏、リサイクルの8つの班に分かれて活動するそうです。

これらはみな教育目標である「豊かな知性と確固たる良心を合わせ備えた責任の主体たる自立人を育成し、聖書に基づく全人教育を行う」に基づき、労働は「必要なものは自分たちで整える」ことを学び、寮生活は生涯にわたる友情が生まれることを目指しています。

生活のルールはみんなで決めて決めますが、その為に沢山の話し合いがもたれました。社員も3年前の2、3人から12人と増えています。人と人とのつながりから、次々と新しいアイデアが生まれてきているのを感じることが出来ました。

小さな高校の大きな学び

さらに、安保健案審議中の国会前で「民主主義ってなんだ」と声を上げ、



「てごねつと石見」の説明を聞く

れ、そんな中で各自が自覚して行動することを求められていることに気づき、ひとりひとりが自立していくのだそうです。

普通高校ですから、教科は普通に学びますが、少人数なので課題学習やレポート作成が多くあります。スマホは持たせない、インターネットは勝手に使わないルールがあるので、必然的に図書館を使った調べ学習になり、その結果を発表する機会も多いそうです。点数主義や詰め込み教育ではなく、自ら問題点を見つけ、解決の道筋を考え、真理を発見する力を大切にしているということでした。

人権と平和教育を

また、平和を愛し、広い視野に立った国際的精神を育てることを大切にしている。平和学習にも力を入れています。さらに特別授業では、社会人、人権や平和の為に働いている人を招き、世界に目を向け、生き方を考え、将来の進路を考える時としていて、将来自分が何をしたいのか、何を学びたいのかをしっかりと考えて進路を選ぶそうです。

なにより校内で出会う生徒たちの顔が輝いていること、みんなが笑顔で元気よく挨拶する姿が素敵でした。帰る時に作業小屋から飛び出してきて手を振ってくれた生徒がいたことも印象的でした。

公立の学校が失ってしまった教育の原点、学びの原点がここにあるような気がします。生き生きと学びのびと、肥くみでさえやらされるのではなく、自ら喜んで取り組んでいる姿はほんとうに素晴らしいと思えました。



愛真高校 栗栖校長と

残念なのは、学校が県内です。賛否両論あるとは思いますが、もっと知られてほしいと思います。県外生が多いせいなのか、県内の中学にはなかなか説明会に行かせてもらえないというお話でした。今回の調査を通して、自ら考える人間を育てる大切さ、がテーマだったと振り返って思っています。「てごねつと石見」の2人の若者も、「スキモノ」の平下氏も愛真高校生徒たちもそういう人たちが育つ、またそういう人を育てようとしている人でした。「今江津が面白い」のは江津を愛し、江津を面白くしようと自ら考える人たちが育ち、その輪が広がっているからではないかと思えます。

「男性の非暴力宣言」に 男性が立ち上がった

ホワイトトリボンキャンペーン

12月10日は、性暴力被害者支援センター「さひめ」主催の、男性の非暴力宣言―男女がともに取り組む性暴力予防―という研修会でした。

DVや性暴力の被害者の多くは女性です。DV被害者の支援に長らく携わってきましたが、被害者を支援するだけではだめで、原因を絶たなければ、と



研修会から

原因を絶たなければ、と
思ってきました。原因は何
かと考えた時、社会の中
にある「女性を一段低く見
る意識」だったり、家庭で
は「妻は家事育児をして
当たり前、夫は妻を思い

通りにしていい」という意
識だったり、そういう意識
を知らず知らず身に着け
てしまう環境があること
だと思っています。

北欧の視察で見たよう
に、小さい時から男女を
区別せず平等に教育しな
ければ社会は変わらな
いと思うのですが、それは
とても難しく、時間がか

さんから「子
どもを真ん
中においた地
域づくり」だ
れも「おめでとう」と
誕生を祝福され、「ありが
とう」と看取られる地域
をめざして、と題した子
ども食堂やフリースペース
のことをお聞きし、最後
に性暴力被害総合ケア
S A T O C O について西川
看護部長と松村支援セン
ター所長のお話をうかがい
ました。

この2つの報告も、「誰
も取り残さない社会」とい
うテーマでつらぬかれてお
り、特に女性や子どもに優
かすることです。それに
すでに大人になってしまっ
た男性を変えることはさ
らに難しいことで、現に
加害男性の再発防止プロ
グラムはなかなか効果が
出ないと聞いています。

しかし男性の理解と行
動変容がなければ、問題
は解決しません。ですが
ら、男性自身が非暴力に
立ち上がってくださったこ
とには大きな意義があり
ます。

関西大学教授の多賀先
生の気づきと行動、ファ
ザリングジャパンの安藤
さんの協力は本当に素晴
らしく、このキャンペーン
が日本中に広がってほしい
と思います。



嬉しかったのは、島根県
の男女共同参画室が所属
する環境生活部長も非暴
力宣言してくださったこと
です。島根県でももっと広
がることを願っています。

全国都道府県 女性議員の会



女性議員のみなさんと

誰も取り残さない社会へ

9月4日、
5日は大津市
で全国都道府
県女性議員の
会があり、出

席しました。全国の超党
派の女性議員が集まって情
報交換や研修を行い、そ
れぞれの活動の幅が広が
ること、メンバーのエンパ
ワメントとなることを願っ
て結成された会です。今
回が2回目ですが、滋賀
県の女性議員の方々の企
画で素晴らしい学びの場
になりました。

最初に、数少ない女性市
長である越前市長の講
演があり、市長になってか
ら待機児童を0にするた
め保育所定員1500人
増員を実現したこと、管
理職試験に加え評価登用
も取り入れる、時間外の

また滋賀県では2015
年に国連で(持続可能な
社会)のテーマである「誰
も取り残さない社会」とい
う考えを県の政策に取り
入れ、すべての政策のプ
ラツシユアップがこの考え
で貴かれていることを県
職員の方からお聞きし、
島根県でも是非そうであ
ってほしいと思いました。
(11月議会で質問していま
す)

しい政策実現につながるも
のだと確信しました。

超党派の会なので、今
まで話したことのない無
所属や自民党、共産、公
明の所属議員も交えた意
見交換ができてとても有
意義な研修となりました。

無所属の議員の中には、
以前民主党の議員だった方
や市川房枝記念会の研修
会で知り合った議員もお
られ、久しぶりの再会も果
たすことが出来て嬉しい
会となりました。



「仕舞い」? わたし習っています

実は、数年前から「仕
舞い」というものを習って
います。月一回、雑賀公民
館に重要無形文化財総合
指定保持者「浦田保親」
氏という京都の素晴らしい
能楽師の先生がいらして、
教えていただくのですが、
お稽古代は「謡」「仕舞い」
両方で数千円と、とても
リーズナブルなのです。



本番に向けて頑張ろうコール

仕舞いはあまりなじみ
がないと思いますが、能の
初めの部分や最後の部分
を5分から8分ぐらいに編
集し、面や装束をつけずに
素で舞うもので能の略式
上演形態です。やってみ
るとさすが伝統芸能で奥が
深く、やればやるほど難
しさが増してくる気がし

ありますから、その前は
猛稽古をして、先輩にも
見てもらって何とか本番に
臨みます。その達成感が
何とも嬉しくて、辞めず
に続けられています。

ところが今年、お稽古
後の懇親会で、酔った勢
いもあって彦根城の能
舞台で催される「保
親浦声会 秋の大会」
に出る、と言っ
てしまいました。さすが
にいつも以上に頑張
って本番を迎えましたが、
結果は「まだまだ」
を自覚することに。
でもせっかく始めた
のですから、今後も
あきらめずに頑張
ります。

けいこの想い

9月議会では、皆様から
寄せられた県政の課題を4
つ取り上げました。特に
DV被害者自立支援貸付金
は議員になってすぐに取り
上げ、形になったものです。
10年たつて環境が変化
し、見直しが必要となりま
した。是非良い形に作り変
え、真に被害者に役に立つ
制度となるよう実現まで取
り組みたいと思っています。
10日から衆議院選挙が始
まります。今回は民進党か
らは候補者を出さないこと
になったため、一区候補者
の所属が二転三転し、やっ

と立憲民主党からと決まり
ました。
皆様にお願ひです。とに
かく必ず投票に行ってく
ださいね!
(2017・10・6)

の質問で取り上げまし
た。子どもの貧困対策や
環境保護、生物多様性
再生可能エネルギーの推
進など、SDGsに掲げ
られた17の目標は、私た
ちの未来を明るく照らす
灯火のように思えます。
世界中がこの目標を実現
できるよう努力できたら
いいと思います。現実
は、むしろ違う方向に向か
っているようで、その実現
はとても難しいと思いま
すが、諦めず訴えていき
たいと思います。
(2017・12・15)

はくいし恵子
(風だよりダイジェストから)

9月県議会(続き)

11月県議会(続き)

今、江津が面白い(続き)